

EF63

直流電気機関車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- マグネットカプラー（連結器の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

使用上の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の跡の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

（お買い上げのお客様へ）不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

（東日本）崎市豊四季241-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371
（西日本）大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050
●電話受付時間 月～金曜日（祝日を除く）10時～16時
●電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け（Nゲージの線路上を走行させることができます。）

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105 通勤電車①：コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①：空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②：ボルトスラスト台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

●KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

●動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099 通勤電車①：コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①：空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②：ボルトスラスト台車タイプ

●床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

●KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

●11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー（プラ小片）が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401 PS14：直流パンタグラフ

品番11-403 PS22：直流下付交差形パンタグラフ

品番11-404、11-420 PS16：直流パンタグラフ

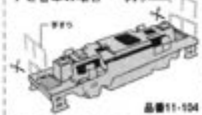
●ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

●11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
●トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い（緩い）ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。



チビ客車の場合



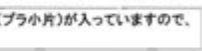
通勤電車①コイルバネ台車タイプ



急行電車①空気バネ台車タイプ



通勤電車②ボルトスラスト台車タイプ



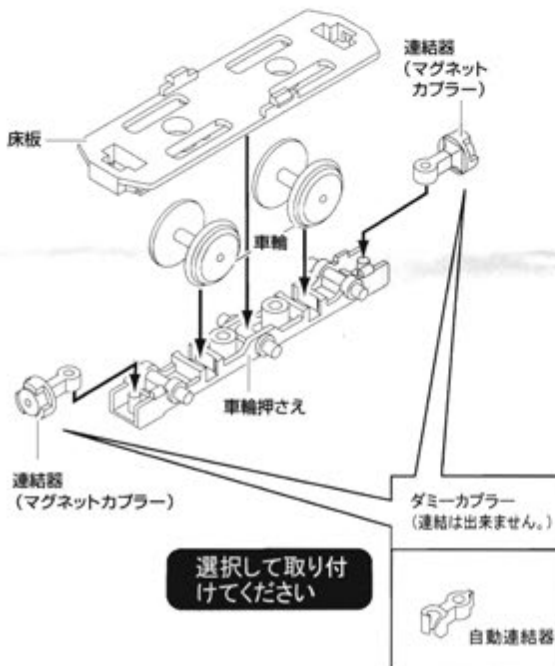
シャーシの組立

1

車輪押さえに連結器、車輪を

それぞれセットして、床板を合わせます。

車輪押さえのポケット部はパチンとなるまで
しっかり押し込んでください。



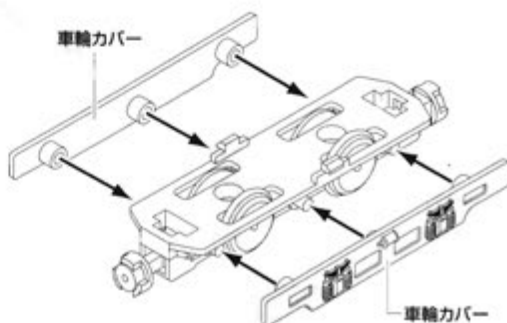
EF63・実車の編成例

●EF63・電気機関車は、陸水峠（軽井沢～横川）を通過するすべての列車に連結された、勾配区間専用の補助機関車で、必ず2両一組で使用されます。



2

車輪カバーを取り付けます。

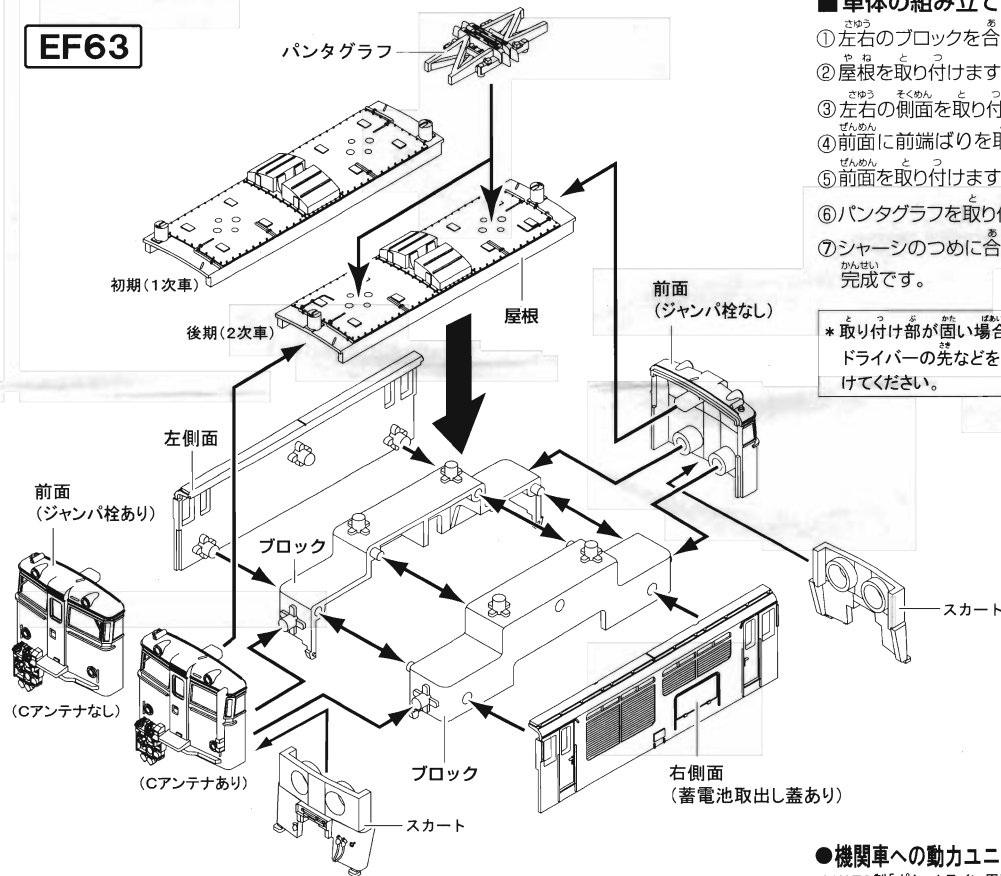


EF63

■車体の組み立て

- ① 左右のブロックを合わせます。
- ② 屋根を取り付けます。
- ③ 左右の側面を取り付けます。
- ④ 前面に前端ばかりを取り付けます。
- ⑤ 前面を取り付けます。
- ⑥ パンタグラフを取り付けます。
- ⑦ シャーシのつめに合わせて車体をかぶせて完成です。

* 取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。



●機関車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

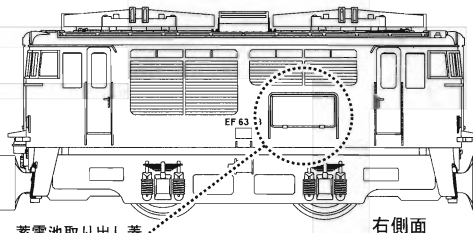
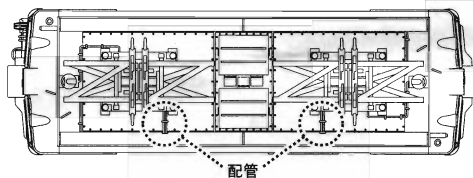
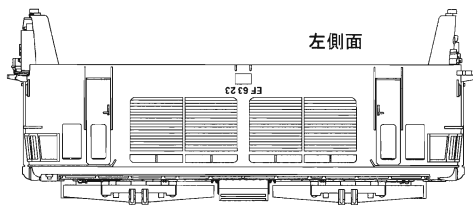
* 11-103は、購入時にはカバーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

* 取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

EF63・各パーツの組み合わせについて

* EF63では、前後の正面、左右の側面の形状には差異があります。展開図を参照に組立ててください。

* 車体番号は、正面右側と、側面中央に貼ります。
* 台紙から切り抜いて貼ってください。
(刃物のお取り扱いにはご注意ください。)



← 軽井沢

→ 横川

軽井沢寄り正面 (2エンド)
(ジャンパ連結栓あり)

横川寄り正面 (1エンド)
(ジャンパ連結栓なし)

ジャンパ連結栓

軽井沢寄りスカート
(配管：右側)

横川寄りスカート
(配管：左側)

配管

蓄電池取出し蓋

右側面

配管

車体番号 (前面、側面中央)

1次車	EF 62 2	EF 62 3	EF 62 4	EF 62 5	2次車	EF 62 16	EF 62 16	EF 62 16	EF 62 16
	EF 62 3	EF 62 3	EF 62 3	EF 62 3		EF 62 17	EF 62 17	EF 62 17	EF 62 17
	EF 62 4	EF 62 4	EF 62 4	EF 62 4		※ EF 62 18	EF 62 18	EF 62 18	EF 62 18
	EF 62 5	EF 62 5	EF 62 5	EF 62 5		※ EF 62 19	EF 62 19	EF 62 19	EF 62 19
	EF 62 7	EF 62 7	EF 62 7	EF 62 7		EF 62 20	EF 62 20	EF 62 20	EF 62 20
	EF 62 10	EF 62 10	EF 62 10	EF 62 10		EF 62 21	EF 62 21	EF 62 21	EF 62 21
	EF 62 11	EF 62 11	EF 62 11	EF 62 11	3次車	EF 62 22	EF 62 22	EF 62 22	EF 62 22
	EF 62 12	EF 62 12	EF 62 12	EF 62 12		EF 62 23	EF 62 23	EF 62 23	EF 62 23
	EF 62 13	EF 62 13	EF 62 13	EF 62 13		※ EF 62 24	EF 62 24	EF 62 24	EF 62 24
						※ EF 62 25	EF 62 25	EF 62 25	EF 62 25

• 1次車は製造台数は青色(平ボディ色2号)。

• 注 は製造台数時に(平成8年)青色塗装になった車両です。